



336-A-1R-3Z

**MATSUYAMA
SHIRASAGI
LIONS
CLUB**

松山白鷺ライオンズクラブ会報誌

しらすぎ



愛媛県宇和島市 南楽園



VOL.25 No.4 2017 June

2016～2017年国際会長

ボブ・コーリュー

国際会長テーマ

『次なる山を目指して』



ライオンズクラブ国際協会336-A地区

ガバナー 真鍋 隆

ガバナー・スローガン

『100周年、夢と誇り・笑顔と絆で

We Serve』

ガバナー・キーワード

「^{いど}挑む」



松山白鷺ライオンズクラブ

会長 梅林 哲次

会長スローガン

『これまでに感謝、さらなる白鷺へ』



25期を振り返って

昨年7月第1例会で、“MHG”（みんな一つになって頑張ろう）とお願いして始まった25期も終わりに近づいています。この一年間の内容については、おそらく役員の皆さんが詳しく書いて頂いていると思います。したがって、私からは一言「感謝！ありがとう」です。



会長
梅林 哲次

振り返れば、この一年間、ただひたすら突っ走ってきました。そのため、二宮実行委員長、中島幹事はじめ役員の皆様、各委員長さん、会員の皆様には本当にご迷惑をおかけいたしました。私がたびたび想定外のことを提案しながら、「もうダメだ。」と心が折れそうになったことが2度や3度ではありませんでした。そのたびに先輩方から適切なアドバイスをいただき、皆さんが是々非々で忌憚のない意見を出し合っていたいただき各事業が本当に素晴らしい事業になりました。

亡き父の親友で、人生の師と仰いでいる方から「これからのボランティア活動は、身近なところで、個性を生かし、創造を加え、自発的に且つ積極的に行動し、自己を生かし他人を生かすものである。」というお話を伺いました。まさに、この一年間、素晴らしい方々と出会い、いろいろと学ばせていただきました。そして、忘れられない一年間となりました。

最後に、これからも“さらなる白鷺”を目指して全員で挑戦していきましょう！

いよいよ慌ただしかった25期が終わろうとしています。



第1副会長
北川 憲一

ただただ、皆さん大変お疲れ様でした。という言葉が滲み出ます。次々と記念事業を生み出す梅林会長、それをサポートする中島幹事、そして予算を都度問われ把握している伊賀上会計、スケジュールを含め内容が日ごと変化しても、限りなくパーフェクトに対応する各委員長とメンバー、そして何よりシルバーアンバーサリ―という重き周年の全てを全身全霊で受け入れ、自身の責任の元で指揮を取られた二宮実行委員長、本当にご苦労様でした。

私がこのクラブに入会させて頂いて12年、まだクラブの歴史の半分にも満たしておりませんが、この1年は、正に「これまでに感謝、さらなる白鷺へ」通ずる感謝と感動を目の当たりにする事が出来ました。役立たずの第1副会長でしたが、皆さん有難う御座いました。そして26期も宜しくお願い致します。

25期を振り返ってみれば、「凄かった」の一語につきます。当初、梅林会長の言われる周年事業計画を聞いて、その全てが奇抜で、それも今までに経験のない事ばかりで、実現できそうにない難しいものに思えました。



第2副会長
川添 紀明

25周年の事業が成功した理由は、梅林会長の熱意と実行力です。しかしそれだけでなく、やはり各委員会で梅林会長の考えを受けて具体化していく緻密な努力があったからこそだと思います。委員会の中で何回も細かな事にも議論を繰り返し、それを積み重ねた結果だと思います。また、梅林会長を支えた中島幹事と二宮実行委員長は、多方面に注意をはらい、また適宜に判断をしていかなくてはならず、私の想像する以上に大変だったと思います。このように周年事業が成功できた根底には、やはりクラブ内のメンバー相互の信頼関係があるからだと思います。この信頼関係こそが、松山白鷺ライオンズクラブらしさであり、クラブの宝だと思います。

この1年間頑張っていた全てのクラブメンバーの方に、また外部の協力して頂いた方々を含め感謝申し上げます。個人的にも、いろいろ勉強させて頂いた1年間でした。ありがとうございました。

松山白鷺ライオンズクラブメンバーのパワーを実感した1年でした。2年前の5月の25周年準備委員会で、梅林会長突然の「運動嫌いの子供が運動が好きになるように、スポーツイベントをします」との発言から「かけっこ教室」への長い道程はスタートしました。9月に講師は朝原宣治さんに決定、梅林会長がマネジャーの中澤さんにメールで猛アタック。10月に仮予約を頂き、翌年9月大阪ガス(株)本社へ8名でご挨拶、正式決定。この頃より島田青少年国際委員長のパワー全開となり一気に前進しました。そして今年2月26日、全メンバー協力のもと準備万端で「かけっこ教室」を開催することが出来ました。参加者はもとより、クラブメンバーにとっても心に残る事業になったと思います。



25周年実行委員会
委員長 二宮 節文

25年継続してきた環境保全事業「We Love 石手川」は今回、河川清掃と自衛隊のご協力による災害時の「炊き出し」とのコラボ事業として実施しました。参加者は800名を超え、いざという時の自助共助の大切さを学ぶことが出来ました。同日、環境基金事業として、「LED太陽灯」を3基愛媛県武道館へ寄贈させていただきました。泉本環境保全アラート委員長さんご苦労様でした。

松山白鷺LC25周年記念事業全て、担当委員長さんのご尽力、メンバーの皆様のご協力のおかげで成功裏に終わることが出来ました。心から敬意を表し感謝を申し上げます。ありがとうございました。



25 期 を 振 り 返 っ て



幹事

中島 邦雄

期待と不安の中で25期が始まり、気がつけば早くも「25期を振り返る時期」になりました。今期は、梅林会長が先頭に立って、様々な記念事業を行いました。そして、どの事業も、メンバー全員の力を結集して見事に成功させました。

今、私は「梅林会長から幹事に指名して頂いてよかった」とつくづく思っています。25周年という記念の年に、全ての委員会の皆さんと楽しく接することができました。予想外の展開もありました。悲しい別れもありました。しかし、何とか職務を全うすることができたのも、梅林会長をはじめとするメンバーの皆さん、事務局の林さんのおかげです。心から感謝申し上げます。

そして、高岡通則さんのやさしさ、新田修敏さんの明るい笑顔も忘れません。
これまでいろいろとお世話になり、ありがとうございました。

4年前の21期に初めて会計という役を務めさせていただき、シルバーアニバーサリーにあたる25期に2回目の会計を務めさせていただきました。25周年特別事業も多々あり予算内で収まるかが心配でしたが、予算に対する各委員長の厳しい認識のおかげで予算内で運営することができそうです。

特に今回のメイン事業のかけっこ教室は初めての試みでもあり予算面でも島田委員長はたいへんご苦労されたかと思います。会食費に関しても西原計画財務委員長の努力で「内容の充実した軽食」に取り組んでいただき金額は抑えながらも満足感の高い例会の食事だったとおもいます。

ここ数年、メンバー全員が健全運営に対する意識が高まったことにより財務体質は素晴らしく改善されました。みんなが出し合った貴重な会費を無駄にすること無く120%有効活用ができたのではと思います。楽しい1年間でありました。

梅林会長ありがとうございました！



会計

伊賀上 忍



ライオンテーマ

大谷 師津男

この1年を振り返って思うことは、記念すべき25期シルバーアニバーサリーに、例会の仕切り役テーマの任を受けたことは光栄でもあり、すごいプレッシャーを感じていました。しかし、いつもお元気な大きな声でハツラツとされた梅林会長の挨拶と優しい口調で淡々と議事を進める中島幹事に励まされ、本当に楽しい雰囲気の中にも凄じ緊張した自分と向き合う一年であったと思います。そんな中、例会最後に長島さんのホットする優しいT.Tの時間が緊張をほぐしてくれたと感じています。

とにかく、下手な進行役でも暖かく最後の閉会ゴングまで見守って頂いた「白鷺メンバー」に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

風薫る季節。去年の今頃、T.Tの勉強会に行ったことを思い出します。

各クラブの今期のT.Tが一堂に会した場にドキドキして着席しました。

早いものですね！もう1年が経とうとしています。

赤色の新調されたハッピーを着て楽しい例会にさせて頂く時間。

じつは一番楽しんでしまったのは私自身ではないでしょうか？

「今日のT.Tの時間はこれで終わります。」→「T.Tの時間は今日で終わります。」

と言い間違えてしまった痛恨のT.T活躍の時間は今でも忘れられません。

至らぬT.Tに協力下さり、1年間お付き合いして下さいた皆さん、ありがとうございました。

来期は西原T.T。頑張ってください！



テールツイスター

長島 真穂



会員・出席委員会
委員長 西村 裕子

記念すべき25周年は24期からの目標であるチャーター時の人数を越してのスタートが出来ました。今期の目標の新入会員3名も皆様のお陰で迎えすることができ、新入会員スクールも理事会メンバーのご協力を頂いて新しい形で実施する事が出来ました。

1リジョンで2番目に会員数が多いクラブとして新たな課題も生まれた年でしたが会長、幹事、第1副会長、そして委員会メンバーのご協力を頂き1年間務める事が出来ました。

素敵な1年をありがとうございました。



計画・財務委員会
委員長 西原 義定

25期は無事に終わろうとしています。周年がこんなに大変なのは身をもって分かりました。お役目を果たしたからには、なんとか力になりたいとの思いでした。不甲斐ない委員長でみんなの足出まといになっているのでは、と思いましたが、計画財務委員会のメンバーの皆様には色々と助けて頂き、感謝しています。

チャリティーゴルフでは、雨男との称号を頂き、思い出も多く残りました。みんなの助けや協力無しでは出来なかった事が沢山ありましたので本当に感謝しています。CN例会を無事に終わることを願って気持ちを入れてやり切りたいと思います。一年間ありがとうございました。



PR・IT委員会
委員長 河端 奈穂子

25周年の今期PR・IT委員会は、通常の年4回の会報誌以外に25周年記念誌の発行が加わりました。

「見やすく権威ある温かい記念誌」を心掛けました。念願の2ページ使った会員全員の写真もでき、「楽しかった・面白かった事」のコメントも楽しいページになり、満足の記念誌です。会員の皆様には本当にご協力ありがとうございました。

沢山のアクティビティに伴う会報誌づくりも回を追うごとに、委員会メンバーの写真撮影や会報誌作成技術がUPしました。1年中忙しい委員会でしたが、メンバーのおかげで無事、25周年記念誌と4冊の会報誌ができあがりました。充実した1年間ありがとうございました。



保健福祉委員会
委員長 河田 朋子

もうすぐ25周年が終わろうとしています。梅林会長が「これまでに感謝、さらなる白鷺へ」のスローガンを掲げられていましたが、本当に皆様に感謝の一年でした。保健福祉委員会の事業は「献血事業」と「親子にぎり寿司教室」をいたしました。

親子での楽しい食育体験が出来たのも、たくさんの方のご協力あったことでした。私自身も本当に良い経験をさせていただいたと思っております。

実行委員会メンバー様、各事業が成功でしたね！お疲れ様でした。



青少年育成・
国際関係委員会
委員長 島田 暢生

今期は周年事業が盛りだくさんで、青少年委員会は、「空手大会・かけっこ教室」と大きな事業の運営で大変充実した1年でした。特に今回初めての試みとなる「かけっこ教室」においてメンバー丸となって取り組むことができました。心に残った事は、「かけっこ教室」当日に青少年委員会だけでは人数が足りず、急遽他委員会のメンバーさんに受付や頭に鉢巻を巻いて子供たちへの声掛けをお願いしましたが、みなさんどんなことでも二つ返事で引き受けてくださり、持ち場に責任を持って活動していただきました。「1人の英雄もなく1人の非協力者もない」というライオンズの言葉どおりその際は本当にこの白鷺ライオンズの方々はずばらしい方ばかりだと改めて感じました。

この25周年という節目に松山白鷺ライオンズクラブに在籍し、活動できたことは貴重な体験であり幸せであると感じた1年でした。皆様本当にありがとうございました。



環境保全・
アラート委員会
委員長 泉本 明英

今年の委員会の中で一番の出来事は、白鷺ライオンズクラブの継続事業である『We Love石手川河川大清掃』が『手づくり故郷賞』表彰を頂いた事だと思っています。25年に渡り、先輩方が、白鷺の理念を体現するこの事業を、ボイススカウトの皆さんや地域の方々と連携しながら継続してこられた結果、現在では、地域に根差した活動になっていると思います。

今年は、25周年記念事業として、自衛隊松山駐屯地の全面的ご協力を得て『災害時炊き出し体験』を行いました。この事業は、梅林会長の今後の地域に対する思いが存分に詰まった事業となり、参加いただいた方々からは「参加して良かった」との声は多くが聞かれました。自分もこの事業に参加できて本当に良かったと思います。

委員の皆さん 今年1年いたらぬ委員長を支えていただき本当にありがとうございました。



1R環境保全・
保健福祉・アラート委員
三浦 賢俊

1R環境保全・保健福祉・アラート委員として1年間無事に終える事が出来そうです。

振り返れば、1R委員会スクール、広島中四国ブロック血液センターでの意見交換会、1R・2R・3R薬物乱用防止教育認定講師養成講座、1R-8LCの周年記念式典、松山センチュリーライオンズクラブ認証状伝達式1Rアワード選考会など通算50回の会に参加。

1R-20LCの役員さんとお会いして、本当に素晴らしい経験をさせていただきました。

これからも健康で、楽しんで、ライオンズ活動を頑張っていきたいと思います。
この一年間 皆さんに感謝！！



朝原宣治のかけっこ教室 楽しく走れ！これで君もHERO！

2017年2月26日（日） 愛媛県武道館主道場

青少年育成・国際関係委員会 委員長 島田暢生

梅林会長はじめメンバー一同の熱い想いのこもったこの事業は、一昨年の25周年準備委員会の時からの構想で、梅林会長が朝原さんの所属する大阪ガス株式会社へメールで依頼したことから始まりました。

昨年はオリンピックイヤーということもあり、朝原さんは大活躍の大忙しでなかなか来松の確定が取れない中、着々と準備は進み、昨年の9月に来松が決定した際にはとても嬉しかったのを覚えています。募集人員の確保や各所への挨拶回りなど目まぐるしく準備する中、ついに当日を迎えかけっこ教室はスタートしました。





準備体操から始まり、動物歩きやスキップなど、朝原さんのノウハウがいっぱいつまったかけっこ教室の中で一生懸命走っている子供たち、そして笑顔いっぱいの子供たちを見ると、本当に良かったと実感しました。最後にはリレーで大盛り上がり！一位を取ったチームは飛び上がって喜んでいました。

子供たちとの質疑応答では「カーブの曲がり方は？」とか「早く走るためには毎日どんなことをするの？」などキラキラと目を輝かせた子供たちが一生懸命質問し朝原さんは一つ一つ丁寧に答えておられました。

数日後にライオンズ事務局に届いた子供たちのアンケートはどれも喜びや充実感のある内容で、読んでいるうちに目頭が熱くなってきました。今回の事業への取り組みは松山白鷺ライオンズクラブの柱でもある青少年育成事業の今後の指標となるべくこの想いをずっと受け継いでいければと思います。大阪ガス株式会社の皆様、たくさんの応募をしてくださった皆様、関係していただいたすべての皆様に感謝いたします！本当にありがとうございました。



開会宣言をする梅林会長



前日打ち合せの様子



質疑応答の時間。みんな、真剣な眼差しで話を聞いていました。



修了証を授与

全員での集合写真
お疲れ様でした。



We Love 石手川 3 / 26

環境保全・アラート委員 委員長 泉本 明英

みなさん、3月26日はお疲れ様でした。お陰様で前日まで雨の予報でしたが、当日は奇跡的というべきでしょうか絶好の日和となりました。これは会長のおかげです。約1年前梅林会長から今回の構想を委員会で初めて聞いた時『これは反響のあるすごいイベントになるな』と思ったのを記憶しております。その後、関係各所に訪問して、皆さんいろいろな協力をさせていただきました。自衛隊の皆さまには炊き出し車両に入浴セットやパネル類、国土交通省の方々には熊本震災時の資料、公営企業局の皆さまには給水車両を準備していただき、各団体の思いを繋ぐ松山白鷺LCのイベントになったと思います。

当日は設営から受付と炊き出し等々、クラブの皆さんには本当にお世話になりました。現場では皆さんに足らぬところをお気遣い頂き、『さすが白鷺だな』と思いました。また、ボランティアで炊き出しに参加して頂きましたご家族ご友人には、十分な準備もできない中で、意見を出し合いながら役割分担を決めて、てきばきと動いて頂き心強く感じました。おさそい頂きましたボランティアの皆さんにもよろしくお伝えいただければ幸いです。

本当にありがとうございました。



当日・前日の準備状況



掃除後に炊き出しのご飯を
おいしく頂きました。



松山駐屯地指令
1等陸佐 財津 耕一郎 様

多くの方のご参加
ありがとうございました。



石手川もきれいになりました。



災害時炊出し体験 3 / 2 6



自衛隊のみなさん、
ありがとうございました。



災害時を想定しての炊出し体験



災害時仮設風呂



飲料用給水車



手洗い用貯水車

LED 太陽灯設置披露 3 / 2 6



司会の石丸さん



夜間のLED設置状況



テープカット



国土交通省松山河川国道事務所
所長 横尾 和博 様



梅林会長



愛媛県文化・スポーツ振興課
課長 水口 洋 様



手づくり郷土賞(一般部門)認定書授与式 4/7



2017年4月7日に、松山市役所3階第1会議室にて
平成28年度「手づくり郷土賞」認定書授与式が執り行われました。

献 血 事 業 4 / 1 3 ～ 4 / 1 4

保健福祉委員会 委員長 河田 朋子

4月13日(木)14日(金)、大街道献血ルームにて第25期2回目の献血事業を行いました。

紹介人数137人・本人献血10人・献血受付人数243人・400ml献血153人成分献血65人(200ml換算501人)のご協力をいただき、本当にありがとうございました。

献血ルームのスタッフの方の話によると、当クラブが献血事業を行うときは臨時で看護師増員3名、全血採血装置の4台増設というご配慮をしてくださっているそうです。ありがとうございます。

今期、アクティビティへのメンバー全員の協力が得られたわけではありませんので、心残りではあります。

来期こそ、全員が意識を持って参加協力できればと思います。





新 会 員 紹 介

4月第1例会 入会



秋山浩一さん

これまで青年会議所や法人会などでいろいろな経験をさせてもらい、様々なことを学ばせていただきました。またそこで多くの友人と知り合い、商売やプライベートなどでも助けてもらい大切な人とのつながりを持つことができました。

入会のきっかけは前々から北川次年度会長の熱い思いに押し切られたのと、父や母もそれぞれお世話になっておりましたのでまた色々な経験ができればと期待して決意させていただきました。若輩者ですが精一杯ガンバってまいりますので今度ともよろしく願いいたします。

4月第2例会 入会



新玉明生さん

この度、松山白鷺ライオンズクラブに入会させていただきました、新玉明生と申します。当方、50歳を過ぎ、今まで育ててくれた地域社会にもそろそろ何か社会奉仕もしなければと考えていた矢先に、縁あって、松山のライオンズクラブの中でも会員数が多く、活動も充実していると聞き及んでいた松山白鷺ライオンズクラブに入会させていただいたことは非常に幸運であり、ありがたく思っております。

当方、まだまだ未熟者で、またクラブのことも右も左もわからない状態ですが、この初心の思いを忘れずに、諸先輩方を見習い、これから精一杯頑張っていこうと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



山下智弘さん

この度、入会させていただきました山下智弘と申します。最初、入会を勧めていただいた時は「私には荷が重いのではないかな」とか「あまり貢献できないのではないかな」といった不安の方が大きく、躊躇したのが事実です。ただ、せっかくこのような機会とご縁をいただいたからには少しでも社会奉仕に貢献できるよう、先輩方のお役に立てるよう精一杯がんばります。まだまだ未熟者ではございますが、ご指導の程、何卒宜しくお願い致します。





例会風景

第597回例会

2015年度ゾーンチェアパーソン賞



第598回例会



2名以上スポンサーキー賞贈呈

第600回例会



100%例会純出席会員表彰

第603回例会

2名以上スポンサーキー賞贈呈



シルバー・センチネル・アワード贈呈

2015年度 会員増強賞贈呈及び
シルバー・センチネル・アワード贈呈

90%以上例会純出席会員表彰



地区年次大会 4 / 9



副幹事 桑村達也

丸亀市のアイレックスにて開催の地区年次大会に、代議員として参加してきました。4月9日の早朝6時に長島さん、大谷さんをピックアップしながら出発しました。ピックアップ直後、長島さんは顔の作業がまだ途中ということなので、完成するまで正面のみ見ながら運転し決して振り向きませんでした。

到着早々ガバナーを選出する選挙に投票し、次に分科会、代議員総会、大会とプログラムどおりスムーズに進行していきました。お昼はうどんの食べ放題でもてなしていただき、盛況のうちに大会も終了しました。前年は大会のみでしたが、今回は全体を経験でき、四国地区の動きが理解できました。ご参加の皆様お疲れ様でした。

複合地区年次大会 5 / 14



副幹事 桑村達也

呉市の呉市総合体育館オークアリーナにて開催の複合地区年次大会に、代議員として参加してきました。5月13日 14時に、松山観光港から代議員7名とフェリーにて出発しました。その日の夕食は、伊賀上さんに手配頂いた鉄板焼きのお店でお好み焼き等を美味しく頂きながら、会の運営などに関する事を鉄板と同じように皆様で熱く議論しました。

5月14日の大会当日は当日入りした宇都宮吉則さんと合流し同じ分科会に参加し、その後全員で大会へと進んでいきました。大会の中では各地区のガバナーが白いタキシードで肅々と進行されていきました。その後、呉市でお土産などを買い、フェリーに乗船し無事に松山観光港に到着しました。ご参加の皆様お疲れ様でした。



会員・出席委員会旅行 4 / 15

会員・出席委員会 委員長 西村裕子

黒川温泉へ行くことしか決まっていな一泊二日の旅

8時集合で出発！はしたけれど、

半ドアの警告が鳴りやまず店まで引き返し再度点検

助手席に何か挟まっていたと判明！

ええ～！気を取り直して再度出発！！

満開の桜並木のメロディーラインを通過してフェリーで九州へ

船中では、

委員会を開催、とっても真面目に出発です

車中では、

宇都宮吉則さんが携帯でナビゲーター

写真撮影は勿論明関さん

いつの間にか編集してみんなのラインへ送信

宴会では、

会長と桑村さんが今夜はお酒に限界まで挑戦するぞ～！

でも限界はすぐに来て真っ赤なお二人でした

翌朝温泉街をのんびり散策してから今日も岩田さんの運転で出発！

森の中のパン屋さんや道の駅へ寄り道をしながら、

お昼は別府のとり天発祥の店「東洋軒」へ

会計の脇さんのOKをもらいながら注文、大満足！

宇治田さんと私はすべてお任せのお姫様で、とっても楽しい旅でした♪



ガバナーズアワード



アラート賞(A) 災害対策部門 銀賞
 運営改革賞 努力賞
 新規アクティビティ取組賞 特別賞
 (1R合同アクト・サンタチャレンジ)
 グッドスタンディング賞 銅賞
 (公式行事出席・会費の納入)
 会員増強賞(女性会員増強賞) 銀賞
 公式行事出席優秀賞 銀賞(新会員スクール)
 クラブ内研修会優秀賞 銀賞(家族参加 We Love)
 LCIF賞 銅賞(66名)
 環境保全賞 環境改善部門 努力賞(We Love 石手川)
 保健福祉省(B) 献血協力部門 努力賞
 薬物乱用防止活動賞 銀賞
 国際交流賞 その他特に貢献 銀賞
 (少年少女空手道選手権大会)
 同好会優秀賞 銅賞(パンの会)
 MJF賞 銅賞(梅林さん、三浦さん、黒田さん)
 特別クラブ功労賞
 ガバナー感謝状
 若獅子賞 森雄治さん、花山さん

- 編集後記 -

今回で25期最後の会報誌となります。

クラブの皆様のアクティビティの様子を、想いを、会報誌の紙面に残す事が出来たでしょうか？読みやすく楽しい会報誌だったでしょうか？

作る楽しさも難しさも味わえた1年間でした。

手にとって読んで頂き、ありがとうございました。(河端)

PR・IT委員会メンバー

委員長:河端 奈穂子 副委員長:田之内 貴志
 梶山 泰伸 奥野 崇 久保田 ゆかこ 新田 健二
 花山 元英 原田 寛 兵頭 史 丸本 利枝
 山本 正聡 大久保 憲

表紙写真 撮影:田之内 貴志

”白鷺の住める まちづくり”

”子どもの未来は まちの未来”



2015. 07. 26.

松山白鷺ライオンズクラブ

例会場:松山全日空ホテル 例会日:毎月第一・第三木曜日

事務局:〒790-0001 松山市一番町4丁目1-5 ISSEIビル3F

TEL 089-913-1637 FAX089-934-3100

E-mail m.shirasagilc@336-a.org

HP-URL sirasagi@lions.qee.jp

発行:松山白鷺ライオンズクラブ(国際協会 336-A地区1R-3Z)

編集・印刷:PR・IT委員会